

紀州 湯浅

KISHU YUASA

めぐり 歴史

湯浅醤油で知られる醸造業を中心として栄えた町並みと、それらを取り囲む海と山が一体となった、歴史の香り漂う町・湯浅。江戸後期には紀北では和歌山城下に次ぐ規模を誇ったこの街には伝統的な町家建築が多く残り、情緒あふれる風景を形成しています。

平成18年には白壁の土蔵、格子戸や虫籠窓など、醤油醸造の伝統を感じる家並みが残る、東西約400m、南北約280mの一带が、文化庁から「重要伝統的建造物群保存地区」に選定され、商工業を中心に発展した町が今も地割を残し、近世から近代にかけての町並みが歴史的風致をよく残している貴重なものと認められました。

今回は、まち歩きの案内人・講師として湯浅重要伝統的建造物群保存地区選定に向けての保存対策調査に関わられた中西重裕氏をお招きし、湯浅の建築物の特徴をレクチャーしていただきます。紀州路への小旅行を兼ねて、是非皆様ふるってご参加ください。

主催:

公益社団法人
日本建築家協会
近畿支部 住宅部会

代表世話人 角直弘
5月例会世話人 瀧川嘉彦
北條豊和

写真:湯浅町ふるさと振興課パンフレットより

■集合場所: JRきのくに線 湯浅駅

13:00~ 受付開始
13:15~15:00 まち歩き
(10分休憩)

15:10~16:30 講演会
16:30 終了・解散
※帰りの列車 17:16発 くろしお28号(参考)

■定員: 25名(要事前申込)

■参加費: 無料

■行きの列車時刻表	
※京都発はなし	
新大阪	11:13発
大阪	11:18発
天王寺	11:32発
日根野	11:57発
和歌山	12:18発
湯浅	12:50着

新大阪発白浜行
くろしお9号



大仙堀



甚風呂

江戸時代から昭和の終わりまで営業していた小路にあるお風呂屋さん。個性的な外観と建物内部を保存・復元し、往時の生活様式を伝える資料館として公開しています。



■広域図

湯浅重要伝統的建造物群保存地区



重要伝統的建造物群保存地区

●●●●● まち歩きルート



案内人・講師: 中西 重裕

1958年和歌山県生まれ
長崎総合科学大学卒業
伊藤喜三郎建築研究所を経て、設計事務所設立
株式会社一級建築士事務所 K&Nアーキテクツ
代表取締役
湯浅重要伝統的建造物群保存地区内の調査等を行っている。

明治7年建築の醤油醸造家の主屋は、全体的な構造から細部意匠に至るまで湯浅特有の様式を良く残しており、代表的な町家建築として位置づけられています。



こちらのQRコードの参加フォームからお申込みください。

問合せ先: 北條 toyokazu@hojo-archi.jp (株式会社北條建築事務所)